



中国株ウィークリーレポート

2020/8/3

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	26,428.32	114.67	0.44	-0.16	-7.39	28,538.44
NASDAQ	10,745.28	157.47	1.49	3.69	19.76	8,972.60
日経225	21,710.00	-629.23	-2.82	-4.58	-8.23	23,656.62
上海総合	3,310.01	23.18	0.71	3.54	8.52	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,695.05	38.90	0.84	4.20	14.61	4,096.58
ハンセン	24,595.35	-115.24	-0.47	-0.45	-12.75	28,189.75
中国企業	10,039.96	-57.12	-0.57	-0.41	-10.10	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.4%安と3週続落、上海総合指数は3.5%高

香港市場ではハンセン指数が0.4%安と3週続落。週初に続落が始まった後、本土株高を受けて買い戻される場面もあったが、週末にかけて再び売られる展開となった。米中関係の悪化や新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感から慎重姿勢が強まり、節目の25000ポイント付近で上値の重さが意識された。本土市場では上海総合指数が週間で3.5%高と3週ぶりに反発。工業企業利益の改善や市場予想を上回る強い製造業PMIの発表で景気の先行きに対する懸念が後退した。

今週の展望: 香港市場は弱含みの展開か、新型コロナや政治リスクを意識

香港市場は弱含みの展開か。立法會議員選挙の延期による政治リスクや新型コロナの感染拡大が引き続き相場の重しとなりそうだ。中国の経済指標の改善は相場の支援材料だが、米中対立が激しさを増すなかTikTokを運営するバイトダンスに対する風当たりが強まっており、ほかの中国企業のサービスにも警戒感が強まる可能性がある。また香港系企業の決算発表にも注目が集まる。一方、本土市場も米中対立の激化が懸念材料だが、中国政府による政策への期待を背景にしっかりとりの展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	61.70	7.40
2 石業集団 (01093)	16.26	6.00
3 舜宇光学科技 (02382)	145.90	5.65
4 銀河娛樂 (00027)	52.80	5.49
5 長江インフラ (01038)	40.40	5.48
6 中国蒙牛乳業 (02319)	36.35	4.91
7 香港証券取引所 (00388)	370.20	2.72
8 中電控股 (00002)	73.40	2.66
9 新鴻基地産 (00016)	94.90	2.65
10 吉利汽車 (00175)	16.30	2.64

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ヘトロファイト (00857)	2.69	-5.94
2 シバック (00386)	3.32	-3.77
3 CNOOC (00883)	8.20	-3.76
4 中国建設銀行 (00939)	5.68	-3.07
5 HSBC (00005)	34.95	-2.92
6 恒安国際集団 (01044)	65.05	-2.84
7 AIAグループ (01299)	70.05	-2.57
8 華潤置地 (01109)	32.30	-2.56
9 九龍倉置業地産 (01997)	27.40	-2.14
10 中国工商銀行 (01398)	4.58	-2.14

▼今週の主なイベント

- 8月5日(水) 【米国】ISM製造業景況指数(7月)
- 8月7日(金) 【中国】貿易統計(7月)
- 【米国】雇用統計(7月)

▼今週の期待材料

- ◆先週の中国中央政治局会議で内需拡大の方針を確認、中国政府による政策期待が相場の下支え要因に
- ◆中国の7月の製造業PMIが前月から0.2ポイント上昇の51.1に改善、市場予想を上回る強い結果に
- ◆香港系の主力銘柄が中間決算を発表、決算発表シーズン開始で個別物色が活発化する公算

▼今週の懸念材料

- ◆香港政府が9月の立法會議員選挙の1年延期を発表、政治リスクが意識される可能性も
- ◆米国が中国企業への締め付けを強化、トランプ米大統領がTikTokの利用禁止を検討すると表明
- ◆一部メディアが「中国政府がアリババとテンセントの決済サービスの独禁法調査を検討」と報道

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 海爾電器 (01169) : 親会社の海爾智家による株式非公開化計画を発表
- ☆ エン州煤業 (01171) : 4-6月の石炭生産量が9%増加、販売量は20%増
- ☆ 中国国際コンテナ (02039) : 深セン証取が子会社の創業板への上場申請を受理
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : NY金先物が一時2000米ドル超え、金相場上昇が追い風に
- ☆ アリババ集団 (09988) : 8月のハンセン指数構成銘柄見直しで新規採用の見通し
- ★ 香港鉄路 (00066) : 6日に20年6月中間決算を発表、赤字転落の見通し
- ★ 周生生 (00116) : 20年6月中間決算は新型コロナの影響で65-70%減益の見通し
- ★ シノペック (00386) : 1-6月の油ガス生産量が0.4%減少、原油処理量は10.5%減
- ★ 神州租車 (00699) : 中国証券監督当局が大株主の神州優車への処分を決定
- ★ 聯想控股 (03396) : 20年6月中間決算は新型コロナの影響などで大幅減益の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。